保健委員会だより No. 2

7年2組 保健美化委員作

みなさんは学校のAEDがどこに設置されているか知っていますか?事故や災害はいつ、どこでも起こります。普段の生活からAED設置場所を確認しておきましょう。

また、心肺蘇生(胸骨圧迫とAED)を行うことで、命を救える確率が大きくあがります。もしもの時に勇気を持って行動できるように、救急処置の方法を覚えておきましょう。

保健委員会だよりは、毎年1年生の保健委員さんに作成をお願いしております。今回は救命処置と地震時の避難方法・消化器の使い方についてです。ぜひ、2組保健委員さんが作成してくれた保健委員会だよりを読んでください。

あなたにもできる救命処置

·救德事の到着まで約10分

119番通報をしてから対係車が到着するまでは9、4分(全国平均)の以停止では1分ごとに救命率が10%低下するといわれています。また、脳は酸素がなくない、73~4分(で死にいたります。救役車を持っていては手通れにすることがあるのです。

・胸骨圧頂で救える命の軟約2億、AEDで救える命の数約6億 何もでずに救急車を持つ場合と比べて胸骨は直を行うと約2倍、AEDを使用すると約6倍もの命を取りことができます。胸骨圧直とAEDで、心停止を起こしてこ人の約4数を 教えるともいわれています。

胸骨圧迫の方法

胸骨の下半分を手の根本で"



真上から100~200回/分の

AEDの使い方

O AFDの電源を入れる。



②音声の指示るリにパットを見まる。



③ 必幸であれば、周国の安全確認後



